

渚の駅機能強化など

館山議会 約1億円補正予算可決

館山市の臨時議会が13日あり、9620万円を追加する一般会計補正予算案など3件を原案通り、可決した。補正予算には

国の地方創生推進交付金を活用した渚の駅の改修や機能強化、企業誘致などの事業が盛り込まれた。渚の駅の改修事業（4300万円）では、外壁・屋根の改修とともに、夕

レントの「さかなクン」の壁面イラストを増やし、さらにさかなクンを前面に打ち出した外観とする。

機能強化事業（800万円）では、ケークルの屋内版ストリートビューで見られるようにする費用、サンゴやサメの群泳など館山の海中のようすを仮想体験できるVR

（仮想現実）の導入費などを計上し、施設のPRや魅力アップを図る。

企業誘致推進事業（550万円）では、IT関連やベンチャー企業などの誘致を視野に企業誘致支援業務の民間委託費や、市内空き店舗に新たに進出した企業に、改修・家賃補助として最大100万円を補助する事業を盛り込んだ。

その他補正予算の主な事業は次のとおり。

▽恋人の聖地事業（150万円） Ⅱガイドブッ

クなど印刷物作成、PR、ビジネス化に向けた専門人材を迎えた情報交換会

▽雇用促進事業（35万円） Ⅱ市内事業者の人材採用力向上に向けたセミナー
開催▽海岸清掃機材購入費（1000万円） Ⅱ新たな清掃機材の購入▽景観計画策定事業（1500万円） Ⅱ駅西口地区を含めた海岸沿いの街並み景観づくりをはじめ、自然、歴史・文化的景観保全に向け市内全域を対象に景観計画を策定